

りっとう議会だより



No.212

2024.11.1 発行

大きな栗の木の下で



滋賀県栗東市

夏休み

親子議会見学ツアー



レポートはこちらから！

8月3日に初開催した「夏休み親子議会見学ツアー」。21組の親子が穴埋め式のクイズを解きながら議会を探検！ツアーの最後には、議会に詳しくなる、自分だけの「議会ノート」が完成しました。



特集 夏休み親子議会見学ツアー P 2

議案 9月定例会 P 4

委員会 各常任委員会ピックアップ P 6

個人質問 ここが聴きたい 市政を問う P 9



参加していなくても楽しめる

バーチャル夏休み親子議

当日の様子をちょっとのぞいてみよう！



議員と一緒に議会施設を親子で探検。
普段は入れない部屋に入ったり、
議会の仕組みを詳しく聞いたり…。
各スポットでの話の中にクイズのヒントが
隠れていました。

～委員会とは～



きょうがいしつ
協議会室

Q.1

栗東市議会には
常任委員会が
____つあります。

A. 答えはページの
下にあります

協議会室

第1委員会室

第2委員会室



議場

傍聴席

WC

傍聴者控室

監査委員事務局

修了証書
授与



※アンケート結果は裏表紙をご覧ください

A.1 4 A.2 大きな栗の木の下の A.3 6
A.4 ①日程 ②進行方法 A.5 選挙 A.6 誰でも

～栗東市議会の議会改革～



ほうちようせき
傍聴席

Q.6

定例会の審査や
個人質問は____
聴きに行けます。

審議した議案など

	件名	採決結果
人事	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて (氏名:宮嶋 清七 氏)	適任・全
	教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて (氏名:田中 和子 氏)	同意・全
条例（一部改正）	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例 (公務能率維持のため、分限処分の対象等の見直し)	可決・全
	条件付採用期間中の職員及び臨時的任用期間中の職員の分限に関する条例 (分限事由を明確にするため)	可決・全
	総合福祉保健センターの設置及び管理に関する条例及び障害児地域活動施設の設置及び管理に関する条例 (児童福祉法の改正に伴う改正)	可決・全
	国民健康保険条例 (国民健康保険被保険者証の廃止による、国民健康保険法の改正に伴う改正)	可決・別表
	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例 (小野南部・上砥山工業団地、栗東東部地区工業団地、小野工業団地の地区計画区域内における適正な都市機能及び健全な都市環境を確保するため)	可決・全

	件名	採決結果
その他	契約の締結につき議会の議決を求めることについて (栗東西中学校大規模改造工事における契約締結→たち建設株式会社)	可決・全
	財産の処分につき議会の議決を求めることについて (下鈎178番2ほか7筆の土地を2億2,279万1,600円で処分→有限会社滋賀中央パップ)	可決・全
	道路線の廃止について (下鈎葉山川線)	可決・全
	道路線の認定について (上鈎区内21号線、高野里東上前田線、上鈎下食田線、治田西小学校東線)	可決・全
請願書	難聴と認知症防止のため補聴器購入の助成制度を求める請願書	趣旨採択・別表
	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)改正を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択・別表

令和5年度 一般会計・特別会計 決算					
会計名	決算額	採決結果	会計名	決算額	採決結果
一般会計	277億1,062万3,360円	認定・別表	栗東墓地公園特別会計	593万9,350円	認定・全
土地取得特別会計	1億2,188万8,134円	認定・全	大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計	6,546万9,856円	認定・全
国民健康保険特別会計	53億4,214万4,130円	認定・別表	水道事業会計	23億2,202万7,290円	可決 認定・全
後期高齢者医療特別会計	7億7,035万4,372円	認定・別表	公共下水道事業会計	32億33万8,943円	可決 認定・全
介護保険特別会計	39億1,663万6,689円	認定・別表	農業集落排水事業特別会計	3,655万1,292円	認定・全

令和6年度 一般会計・特別会計 補正予算				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計（第3号）	4億5,460万円（減額）	281億4,228万1千円	民生費の減額等	可決・全
国民健康保険特別会計（第1号）	4,629万2千円（増額）	54億8,601万3千円	諸支出金等の増額	可決・全
介護保険特別会計（第2号）	35万円（増額）	42億4,527万3千円	諸支出金の増額	可決・全

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(多=賛成多数、少=賛成少数 ○…賛成、●…反対)

案件	会派名 議員名	賛成 の数	新公会							ネットワーク			公明		共産		究理		未来
			上田 忠博	三木 敏嗣	里内 英幸	梶原 美保	西田 聡	寺田 靖広	奥村 明	田村 隆光	上石 田昌子	谷口 律香	川嶋 恵	塩見 隆	青木 千尋	伊吹 裕	武村 賞	櫻井 浩司	島田 利恵
一般会計・特別会計決算	一般会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	国民健康保険特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	介護保険特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
条例	国民健康保険条例	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○
請願書	難聴と認知症防止のため補聴器購入の助成制度を求める請願書	多	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●
	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)改正を求める意見書」の提出を求める請願書	少	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○

*議長(中野 光一議員)は採決に加わらない

*会派名の正式名称は次の通り ネットワーク(栗東市民ネットワーク)、公明(公明栗東)、共産(日本共産党栗東市議団)、究理(究理の会)、未来(未来創造りっとう)

傍聴

にお越しください

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

- ・開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
- ・日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
- ・議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
- ・手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。

●問い合わせ 議会事務局(市役所4階)
TEL:551-0137 FAX:551-0146
✉:gikai@city.ritto.lg.jp

議会の様子は、開催後速やかにYouTubeにアップしており、動画でもご覧いただけます。▶



12月定例会の予定

(土・日・祝は除く)

3日	本会議(議案上程等)
10日～12日	本会議(個人質問)
13日～17日	各常任委員会
20日	本会議(委員長報告・採決)

委員会活動レポート

環境建設常任委員会

国道1号・8号バイパス整備等進捗状況を確認

国道1号・8号バイパスおよび、これらに接続する主要幹線道路の事業進捗を確認するため、7月29日に協議会を開催しました。

当日は、国道1号栗東水口道路、国道8号野洲栗東バイパス、および大津能登川長浜線(山手幹線)について現場視察を行い、滋賀国道事務所と滋賀県南部土木事務所から、それぞれの「事業進捗状況」および「今後の事業計画等」について説明を受けました。

帰庁後、歩行者や自転車の通行ルートの確保や交差点の渋滞対策、交通規制に伴う安全対策などについての質疑を行いました。



▲大津能登川長浜線(山手幹線)現場(上砥山地先)

常任委員会ピックアップ

～9月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～



※委員長報告を映像で
ご覧いただくことができます

予算常任委員会

「令和6年度栗東市一般会計補正予算 (第3号)」の審議より

◆豪雨の被害から林道を守れ
(林道維持管理事業)

問 6月の豪雨で道々林道が
陥没し復旧工事を行うと
のことだが、比較的きれい
な舗装であったと記憶して
いる。以前の舗装はいつか
また、何度も陥没するよう
であれば水を細川の方に
流すような設計を行うべ
きではないか。

答 昨年度、豪雨により陥没した
ことから、緊急修繕で埋め戻
し舗装を行った。今回、陥没
したところを確認すると、m
下に配水管があり、そこから
吸い出しが起きている可能
性が高いため、配水管をコン
クリートで巻くなど止水を
しっかりとした中で、吸い出
しが起こ
らない形
で工事設
計を進め
ている。



▲道々林道陥没写真

◆児童図書購入と学習
コーナー(図書等整備事業・
図書館管理運営経費)

問 今回の購入数と本の行き
先は。
答 約300冊で、移動図書ステ
ーションへの配本を考えて
いる。

問 修繕費の内訳と、セルフ
貸出機導入委託の内容は。
また、クーリングシエル
ターも兼ねるのか。

答 修繕費は学習コーナー設置
のための6連分の書架の撤
去および移動費用。委託料
については、西館に設置して
いる検索システム機にスキャ
ナーやバーコードリーダーを
設置するもので3台分であ
る。中高生の利用は放課後
になることから、日中は市民の
生涯学習の場、学び直しの場
として利用いただき、クーリ
ングシエルターとしても利用
することを考えている。

所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○上石田 昌子、○上田 忠博 議長(中野 光一)を除く全員

総務常任委員会

市職員の分限に関する 条例を改正

◆収賄容疑による市元職員
の逮捕事案を機に、分限
事由および分限処分の内
容を改正する条例改正を
審査しました。今後の不
祥事発生を抑止し、業務
の効率化を目指します。

問 「休職期間3年を超えな
い範囲」の基準は。

答 休職後、復職しても休職
期間がリセットされず通
算され、その期間が合計
3年を超えない範囲とな
る。

問 「当該職員がその職に必
要な適格性を欠くと認め
られる客観的な事実」の
基準は。

答 勤務時間中の不適切な離
席などによる職務に専念
しないことや、職員等への
暴行、暴言などが挙げら
れる。

※分限処分とは…職員の身
分保障を前提としつつ、公
務能力の維持向上の観点
から、職員がその職責を
果たしえない場合、また
は職員を定員、予算など
に合致させる必要がある
場合に、職員の意に反す
る不利益な身分上の変動
をもたらす処分。



◆国に対し、「刑事訴訟法の
再審規定(再審法改正を
求める意見書)」の提出を
求める請願書については、
可否同数となり、委員長
裁決により、不採択すべ
きと決しました。

所属委員 (○委員長 ○副委員長) ○上田 忠博、○上石田 昌子、川嶋 恵、寺田 靖広、島田 利恵

「常任委員会」とは

市政は範囲が広く内容も複雑なため、市議会では、委員会を設けて本会議の予備的な審査や重要な事柄の調査をしています。現在、4つの委員会に分かれ、議案などを審査しています。

環境建設常任委員会

条例の一部改正等 4議案を審査

◆ 栗東市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

問 地区整備計画区域において、A区域とB区域の外壁後退線が5mと4mになっている理由は。

答 開発面積に応じてセットバックが異なる。

問 流通業務施設が設置されると、施設の出入り口付近の歩行者等の安全対策は、どのように指導されるのか。

答 安全対策については、まちづくり委員会等と協議を重ね対応していく。

問 造成工事は、いつ完了するのか。

答 令和7年10月末に終わる予定である。

◆ 市道路線の認定について

問 上鉤区内21号線は、行き止まり道路となっている。

災害時や緊急車両の出入など、日常生活でも不便である。住宅開発等においてどのような指導をされたのか。

答 開発協議の中で、道路は原則2方向に接続するように指導している。また、行き止まり道路として認める場合は、6m道路の先に8m×8mの転回広場を設け、そこから1.5m幅の避難通路を確保するよう指導している。



▲ 大津湖南都市計画小野工業団地

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎武村 賞、○梶原 美保、田村 隆光、三木 敏嗣、里内 英幸、伊吹 裕

文教福祉常任委員会

栗東市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について他議案1件、請願書1件について審査

◆ 栗東市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について審査しました。

問 マイナ保険証が使用できない医療機関があるが、その場合はどのような手続きが必要になるのか。

答 マイナ保険証とともに「資格情報のお知らせ」を提示することにより受診していただくことができる。「資格情報のお知らせ」は、12月2日以降再交付を希望される方へ発行できる。また、来年の年次更新時には、国民健康保険に加入しているすべての方に発行させていただく。



◆ 難聴と認知症防止のため補聴器購入の助成制度を求める請願書について審査しました。

問 難聴と認知症の関係をどのように考えているのか。

答 令和6年3月に厚生労働省から出された報告に、難聴が生活の質の低下や、認知機能の悪化に影響を与える可能性があることや、早期発見・早期介入の重要性が示されており、市としても認識している。

◆ 趣旨は賛同できるが、これまでの委員会や本会議にて全員一致で趣旨採択されていること。県市長会へも「公的補助制度の創設等」を新規要望していることを踏まえ、趣旨採択してはとの動議が出され、質疑、討論のち、賛成多数で趣旨採択すべきと決しました。

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎西田 聡、○青木 千尋、櫻井 浩司、塩見 隆、奥村 明、谷口 律香

委員会ピックアップ

決算特別委員会

令和5年度の市財政の使われ方は？

◆令和5年度の予算が何に、どのように使われたのかを、詳細に慎重に審議しました。

●ふるさと納税推進経費

問 ふるさと納税による流出影響額は。

答 寄附額から個人住民税の税額控除分を差し引いた2億677万2695円が市外に流出した分になる。



▲ふるさと納税で歳入確保

●地方創生推進事業・シティセールス推進事業

問 馬サミットの開催など踏み込んだ取り組みなど、さらなる工夫、方策は。

答 アニメやゲームで有名なキャラクターとのコラボを含め、積極的に検討していきたい。

●地域コミュニティセンター管理運営経費

問 コミュニティセンターの利用者数等の実績動向は。

答 令和5年度はコロナ禍の影響から回復が進んだと認識している。利用者が多い施設は、他の施設へ振り替えをしてもらうことで対応している。

●大阪湾広域臨海廃棄物処理等事業

問 令和5年度、年間1975tの焼却灰を3か所の事業所等へ排出している。排出量と1t当たりの単価は。

答 フェニックスが1136t／1万7270円、三重中央開発が479・49t／3万260円、太平洋セメントが359・83t／3万7147円である。

問 フェニックスの埋立期間が終了した場合の対応は。

答 フェニックスの埋立期間については、令和12年度以降についても延伸等の検討がある。今後とも効率の良い運用に努める。

●市営住宅維持補修事業

問 市営住宅に入居応募しても当選しないとの声を聞く。実績と現状は。

答 エレベーターが整備されているなど利便性の高い住宅は応募が集中する。そのことから当選しないとの声があるのではないかと考えられる。

問 現状の市営住宅で、改修すれば、入居できる部屋は全体でいくつあるのか。

答 上砥山団地と出庭団地を除いて65戸となる。



▲市営住宅

●介護人材確保事業

問 昨年より未執行が続いている。今後事業の見直しの考えは。

答 事業者へヒアリングの結果、有資格者の採用が多いため、

本制度を利用する機会がないことが判明した。今後、要件緩和等見直しを考える。

●母子福祉推進事業

問 女性相談員の相談件数が、前年度と比較し少ない。その原因は。

答 女性相談員が年度当初に退職し、令和6年1月に新たに任命したため、相談件数は任命後の1月から3月までの件数である。女性相談員不在期間は職員が対応した。

●特別支援教育推進事業・ケアサポーター派遣事業

問 特別支援教育支援員、スクリーニングケアサポーターの現状は。

答 特別支援教育支援員は、現在20人、週3日の勤務であり、今後、子どもたちが学校で過ごす時間すべてを通して配置したい。スクリーニングケアサポーターについては、現在4人を4校に配置している。

「特別委員会」とは

特定の案件を審査する必要がある場合などに議会の議決により設置される委員会です。現在の特別委員会は「決算」（9月30日まで）、「議会広報編集」、「議会改革」、「環境センター整備」があります。

個人質問

ここが聴きたい 市政を問う

～9月定例会での個人質問と答弁の要旨をお伝えします～

問 …議員の質問
答 …市からの回答
意 …議員の意見

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	上石田 昌子	市民の意思を問う住民投票の機会と条例制定を求めることについて	8	塩見 隆	ヒアリングフレイル対策について 市民への電話リレーサービスの周知について
2	谷口 律香	学校と保護者等の連絡手段のデジタル化について	9	青木 千尋	現行の健康保険証が今年12月2日で廃止になる件について
3	寺田 靖広	奨学金返還支援制度について 市庁舎の空調能力改善について	10	伊吹 裕	近年の夏の猛暑に対する対策について 市内公共交通の今後と積極的な住民参加の促進を
4	奥村 明	子どもまんなか社会の実現にむけて～学校校則と生徒指導の見直しと子どもの権利について～	11	田村 隆光	現在進行形の旧R D処分場問題を形骸化させるな！
5	三木 敏嗣	土砂災害と急傾斜地崩壊対策事業について	12	西田 聡	通級指導教室「ことばとまなびの教室」について ～子どもたちがもつ困り感に寄り添い、一人ひとりを温かく支える個別指導～
6	島田 利恵	子ども基本条例について	13	上田 忠博	公共施設の複合化について
7	梶原 美保	国スポ・障スポを1年後に控えた準備の進捗は			



市民の意思を問う住民投票の機会と条例制定

上石田 昌子 議員



がさらに活発となり機運が高まった時期に議論すべきものと考ええる。

答 市民参画

条例は一つの手段。制定については

問 新幹線新駅に対する住民からの

住民投票請求は議会です決した経緯がある。市民からの発議に議会の議決を経ず迅速に対応するためには、常設型住民投票条例が必要。記載できるすべとして、本市の最高規範「自治基本条例」の制定を求めるが、市長の見解を問う。

答

本条例は市民等と行政それぞれの役割や参画のルール、協働の手法を定めたものである。住民投票を市民参画の手段として活用するためには議論が必要と考える。

問

かつての土地開発公社解散時の負債、企業事業貸付金のこげつき、企業誘致における多額の負担など、現在の本市の財政を圧迫してきた起因の責任は市民にはないはず。数十億を投じる健康運動公園事業については、市民の思い描く公園と乖離するものにならないよう、馬事業のランニングコストも含め、環境面にも配慮しつつ極めて慎重に進めていただきたい。「栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例」における市民参画手段として、住民投票の機会が与えられていない理由を問う。

答



連絡用デジタルツールの統一で学校と保護者双方の負担軽減を！

谷口 律香 議員



答

統一に向けて検討を進める。

問

各校で使用しているツールが違つたために兄弟姉妹で欠席連絡方法が違つたり、転校や進学の際に登録し直す必要があるため、保護者にとってはややこしい。市内小中学校でツールを統一することは考えているか。

答

当該校で対応を検討している。

問

学校運営に必要な経費でありPTAが負担するものではなく公費で賄うべきではないか。

答

11校は無料のメール配信サービスを、1校は有料のメール配信サービスを導入しており年間3万3000円の経費をPTAが負担している。

問

費用負担を伺う。

答

10校が使用している。

問

学校のデジタルツールをPTA活動でも使用している学校はこの程度あるか。

答

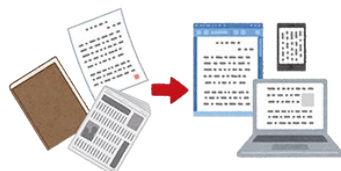
現時点では把握していない。

問

システム導入によるペーパーレスや先生方の負担軽減効果は。

答

市内全ての小中学校で一斉メールなどの連絡システムを導入し、行事に関するお知らせや台風などの非常変災に関する連絡を行っている。



寺田 靖広 議員



これからの栗東市のあり方



問 本市においては保育所等に勤務する保育士や保育教諭に対し、奨学金の返還について補助金を交付する制度があるが、他の業界に拡大することは。

答 市内企業の人材確保や若者の本市への還流・定着の後押しとして、他市町の事例も参考にしながら、支援制度のあり方について調査・研究していく。

意 他市町の事例にとらわれず、本市に合う制度の創設を望む。

問 本市は人口増を目指すのか、減少を見据え体制を整えるのか。

答 デジタル田園都市総合戦略で取り組む施策の効果により、当面の人口増加を目指しつつ、今後の人口減少を最小限に抑制できる構造への転換を目指す。

問 デジタル田園都市総合戦略の重点プロジェクトにおいて、住宅施策は民間主導でされるが、市がどのような影響力を持つていくのか。

答 規制緩和や各種支援策の実施などを進め、民間による取り組みが促進するよう周知・啓発を図っていく。

市役所庁舎が暑すぎる

問 今夏も暑さが続いていたが、来年度に向け市庁舎の改修等を検討できるか。

答 令和3年度より庁舎の空調設備を順次改修しており、今年度および来年度も改修の予定をしている。

意 エアコンの機能強化だけでなく、

屋上・壁面・ガラスの断熱工事が必要。



▲クーリングシェルターと呼べる市庁舎へ

奥村 明 議員



子どもまなか社会の実現にむけて ～学校校則と生徒指導の見直しと子どもの権利～



問 児童生徒や保護者が納得できない理不尽な校則を指導されてはいないか
同（タイツ、防寒着禁止や靴下の色の制限、ツープロツク、頭髪における制限など）。

答 かつてはあったタイツや防寒具の禁止、靴下の色の制限、頭髪における制限については、これまでの「きまり」の見直しに伴い、現在では実施していない。

問 児童生徒、保護者、教職員、地域の方々にも明確にわかるように、各学校ホームページで校則の公表を。

答 「生徒指導提要」2022年の改定版では学校ホームページに公開することが適切となっているので、今後、提要の主旨をふまえた対応を各校に呼び掛ける。

問 現在に至るまで教育委員会から各校へ、校則の見直しに対して指導したことはあるのか伺う。

答 校則は校長が定めるもので指導することはないが、子どもの意見を反映させることの重要性は提要でも明示されており、その実現に向けて引き続き各校の「きまり」を把握しながら、必要に応じて助言していく。

問 「校則」や「きまり」に対して教育長の今後の取り組みは。

答 中学3年生（義務教育9年間の経験）を踏まえて対象に直接話を聞くような機会を計画している。



三木 敏嗣 議員



土砂災害と急傾斜地崩壊対策事業



問 土砂災害防止法により、本市の土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域は何箇所か。急傾斜地崩壊危険区域は何箇所か。

答 土砂災害警戒区域は148か所あり、その中に土砂災害特別警戒区域が107か所ある。土砂災害警戒区域内にある急傾斜地崩壊危険区域は100か所ある。

問 土砂災害を防ぐため、治山事業は有効な施策であると考えますが、課題は。

答 治山事業は、県が示す山地災害危険地区に指定されている等の補助採択基準を満たす必要があり、災害発生後に復旧計画を定め、規模により優先順位が決められることから、予算の確保を含め、早急に着手できないことであると考える。

問 他市で取り組まれている宅地のがけ災害対策費補助金制度について、個人が所有する宅地等において、崩壊した

がけの復旧または、未然に防ぐ工事を行う際に費用の一部を助成する制度の考えは。

答 市内には採択基準に合致しない箇所も多くあることから、土砂災害対策を検討する上で、他市の事例等の情報収集に取り組む。

がけ崩れ

傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象



土石流

山腹が崩壊して生じた土石等または渓流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



地滑り

土地の一部が地下水等起因して滑る自然現象またはこれに伴って移動する自然現象



▲土砂災害警戒区域の対象となる場所

「土砂災害防止法とは（監修：国土交通省砂防部 発行：全国地すべりがけ崩れ対策協議会）」より



子ども基本条例制定において、当事者である「子どもの意見を聴く」ことの必要性和重要性の研修と意識醸成を

島田 利恵 議員



◀川崎市子ども夢パークウェブ
サイト内の「子どもの権利条例」



▲「川崎市」夢パーク内

- 問** 本市の子ども基本条例制定において、制定以前に当事者である「子どもの意見を聴かせていただく」環境づくりや職員の意識醸成には取り組んでいるか。
- 答** 「否定されない」ことを事前に伝え、子どもや若者が安心して意見が言える環境づくりをしたワークショップなどを開催している。
- 問** 「第3期東海市子ども子育て支援事業計画」にて関係部局が連携し本市の実情を踏まえた取り組みを組織横断的に進めていく。
- 問** 子どもの周囲の大人への周知啓発について教育長の考えは。
- 答** 教育委員会として研修機会や情報の提供に努める。
- 問** 当事者である子どもの意見を聴くことの重要性について市長に問う。
- 答** 子どもや若者が安心して意見が言える場や機会を作ること、支援を行うことも重要と考える。研修もしっかり進めたい。作るだけの条例ではなく、実践できる政策で進めていく。
- 意** 条例がないとできないということがないよう、実行できるものを作り、関係部局だけでなく職員全員に「子どもの意見を聴く」問題意識を持っていただきたい。



国スポ・障スポを一年後に控えた準備の進捗は

梶原 美保 議員



- 問** 国スポ・障スポの情報発信にあたり、現在の取り組みは。
- 答** 市広報・HP・各SNS等での発信に加え、職員を中心にポロシャツやネックストラップ、名札等を着用している。大会が近づくとつれて、地元選手の紹介や大会観戦案内等の情報発信に努めている。
- 問** 現在開催中のジュニアゴルフ教室に加え、市民が参加できる国スポ・障スポ関連のイベント開催の予定はあるのか。
- 答** 両大会の機運醸成につながるイベントとして、11月4日(月)祝に栗東市民体育館において市内開催7競技の体験イベントを計画している。
- 問** 会場周辺に飲食店や休憩所等がほぼないが、食事提供の構想は。
- 答** 地元食材を使った弁当の調整や、市内特産品の出店等の提供準備を進めている。
- 問** 今大会においてのレガシーをどのようにお考えか。
- 答** 冷暖房設備整備・体育館の施設改修等のハード面、スポーツへの関心や競技者育成、ボランティア活動等のソフト面といったレガシーを今後の取り組みに繋げていく。



ヒアリングフレイル(※1)対策による認知症予防

塩見 隆 議員



- 問** 本市のヒアリングフレイルに対する認識と加齢性難聴の早期発見についての取り組みは。
- 答** 令和6年3月に厚生労働省から出された「難聴高齢者の早期発見・早期介入等に向けた関係者の連携に関する調査研究事業」の報告により、難聴が認知機能の悪化などに影響を与える可能性があること、早期発見・早期介入の重要性について承知している。市職員や認知症キャラバンメイトの研修などの中でヒアリングフレイルについての理解促進やその対応について学ぶ機会の提供について努めていく。
- 電話リレーサービス(※2)の周知**
- 問** 聞こえない人と聞こえる人が、分け隔てなく対等な立場で共生できる社会を目指すためには、多くの市民にこのサービスの存在を知ってもらうことが必要では。
- 答** 合理的配慮の観点からも必要と考える。市ホームページ、広報、窓口など様々な場面において、制度の周知に取り組んでいく。
- ※1 ヒアリングフレイル**…加齢に伴う聴覚機能の低下が原因でコミュニケーション能力が損なわれ、結果として社会的孤立や認知機能の低下を引き起こすリスクが高まる状態。ランセット国際委員会は難聴の早期発見と対策を行うことで認知症進行を8%予防できる可能性がある」と報告している。
- ※2 電話リレーサービス**…聴覚や発話に困難のある人と、聞こえる人(聴覚障害者等以外の)との間で通訳オペレーターが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することで即時に双方向の電話コミュニケーションが可能となるサービス。





保険証廃止の12月2日以降もマイナ保険証なしで 保険医療が受けられます

青木 千尋 議員



問 マイナンバーカードを取得していない方や、マイナ保険証を登録していない方にも「資格確認書」は届くと聞くが市の対応は。

答 対象の市民の方には申請無しで送付する。

問 保険証の新規発行が停止される12月2日以降に加入する保険が変わったり、氏名を変更したり、保険証を紛失した場合の市の対応は。

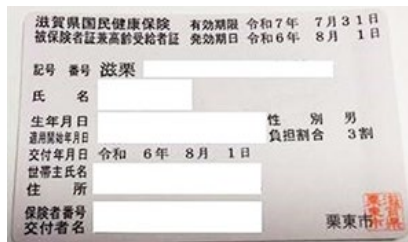
答 保険変更した場合は、現行通りの手続きが必要となる。氏名変更や、紛失した場合は「資格確認書」または「資格情報のお知らせ」を再交付する。

問 今回の「廃止」で短期被保険者証の仕組みも廃止されるが今後の市の対応は。

答 今後、厚生労働省から方針が示される見込みである。

問 現行の健康保険証が12月2日で廃止になることについての市民への周知の方法は。

答 令和6年8月の被保険者証の年次更新時や高額医療の支給勧奨時にチラシの同封。また広報、市のホームページ等で周知する。



▲現行の保険証



夏の暑さに対する対策を

伊吹 裕 議員



問 熱中症特別警戒アラート発表時の市の対応は。

答 滋賀県から連絡を受けた際は、防災無線、市ホームページなどを使用し、市民へ熱中症対策の徹底を周知するとともに、市内4か所の指定暑熱避難施設（クーリングシエルト）の開放を行う。

問 生活保護において、夏の猛暑から命を守るためのエアコン使用に対する補助「夏季加算」が必要では。

答 夏季加算については冷房器具の使用に伴い、夏季に光熱費が増加することについて、その必要性を市としても認識しており、県を通じて国に要請していく。

問 以前指摘した市内小中学校の体育館へのエアコン設置についての計画の有無・進捗は。

答 現時点ではない。

問 権利としての交通権の確立を
権利としての交通権について本市の考えは。

答 権利は確立していないが「持続可能な地域公共交通」を基本理念としており、地域住民・交通事業者・行政が連携と役割分担を行うことで、公共交通の維持確保改善に向けて取り組むものと考えている。



▲連日、猛暑日が続く



現在進行形の旧RD処分場問題を形骸化させるな!

田村 隆光 議員

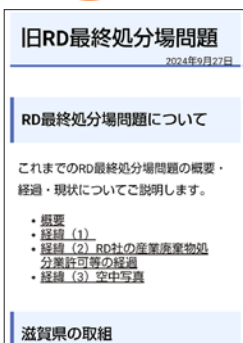


問 旧RD処分場問題も25年を経過し、県の対策工事も完了した。現在は令和7年度末まで工事の有効化の確認や跡地利用について協議が進んでいるが、未だに処分場内外からヒ素やホウ素といった有害物が10年間も基準を超えて検出され続けている。住民からも何らかの対策を取るべきと言われているが放置したままか。

答 ヒ素については学識経験者の助言を踏まえ自然由来と判断している。ホウ素については処分場に起因しているが処分場外なので今後は水質結果の動向を注視していく。

問 県は旧RD処分場問題の顛末をアーカイブとして残すが、栗東市のホームページには旧RD処分場問題に関する一切の情報が不掲載となっている。市の責任としてこの問題の記録を残すとともに市民に広く情報提供すべきではないか。

答 平成24年度までは水質調査結果等を掲載していたが、平成25年に調査が県に引き継がれたので掲載をやめた。今後は旧RD処分場問題を風化させないよう広く市民に情報提供するため関連のページを作成していく。



▲旧RD最終処分場問題に関する滋賀県のHP



通級指導教室「ことばとまなびの教室」

西田 聡 議員



問 通級による指導を受けている児童生徒はどのくらいの人数か。

答 令和6年5月1日時点で小学校児童166名、中学校生徒49名である。

問 通級による指導の対象となる児童生徒とは。また、指導回数や時間、その具体的指導内容とは。

答 通常学級に在籍し、言語障がい、自閉症、情緒障がい、弱視、難聴、学習障がい、注意欠陥多動性障がい、肢体不自由、身体虚弱の障がいのある児童生徒である。週に1から8単位時間、障がいによる学習上または生活上の困難さに応じた自立活動を行っている。

問 未設置校への設置拡大は。

答 今後、令和7年度に葉山東小学校、8年度に大宝西小学校、9年度に栗東中学校へ拡大し、市内全小中学校への設置を目指す。

問 通級担当を核とした校内委員会等の現状は。

答 年間2回開催し、対象児童生徒に関わる教員が支援目標と指導・支援の内容、その進捗状況を確認している。

意 ことばとまな

びの教室での指導・支援が一人ひとりの子どものよさを生かし、自信をもっていきいきと学校生活を送ることにつながっていくことを願う。



▲通級指導教室(ことばとまなびの教室)



今後の公共施設のあり方 ～公共施設の複合化、多機能型施設へ～

上田 忠博 議員



問 本市の公共施設の約57%が築30年を超えている。今回、改定された公共施設等総合管理計画・個別管理計画の概要、実績を問う。

答 長寿命化費用等の再試算に加え、実施方針にユニバーサルデザイン化や脱炭素化の項目を追記した。個別施設計画では、市内103施設の策定をしている。

問 本市の少子高齢化や子育て世代の流出抑制等人口動向を見据えた施設の複合化、統合等を検討されているのか問う。

答 人口動態や社会情勢など様々な要因をふまえて検討すべきである。

問 既存の施設の更新、長寿命化等の財源確保、施設の維持管理費用を問う。

答 財政的には厳しい状況。補助金等の特定財源や自主財源の確保など工夫を凝らして財源確保に努める。維持管理等の費用は、複合・統合化を行った場合の方が安価で済むと推測される。

問 施設のあり方を各部所管が横断的に検討、議論できる組織の必要性を問う。

答 公共施設マネジメントの観点だけでなく将来的なまちづくりの方向性など総合的な観点から検討、計画されるべきであり組織横断的に検討すべきものである。



▲築50年を経過した市役所

編集後記

議会だよりの表紙の写真は特集ページに合わせて選んでいます。

イラストより写真にすることで、少しでもリアルに感じていただきたいと思い、取材中もナイスショットを狙ってスマホ撮影講座で学んだことを思い出しつつにわかスマホカメラマンになり奮闘しています。

今回の表紙はいかがでしょうか。

秋の発行に相応しく本市のキャラクター「くりちゃん」が真ん中に鎮座し、全体に栗色でまとめられています。

くりちゃんのまわりには本市の宝である子ども達の可愛い笑顔があふれています。

今回の特集は、広聴・広報部会が企画した「夏休み親子議会見学ツアー」の様子を載せています。

アンケート結果を見る限り、夏の暑い中でしたが、たくさんの皆様に楽しんで議会を知っていただける機会になったようです。

本誌をめくりながら、にわかスマホカメラマンが捉えた笑顔と共に、バーチャル夏休み親子議会見学ツアーをお楽しみいただければと思います。(島田)

議会広報編集特別委員会

(委員長) 伊吹 裕 (副委員長) 谷口 律香

(委員) 梶原 美保 / 寺田 靖広 / 島田 利恵 / 奥村 明

●表紙写真

夏休み親子議会見学ツアー

同級生に
オススメしたい度

82%!

保護者全員が参加してよかったと回答!

夏休み親子議会見学ツアー- 参加者の声

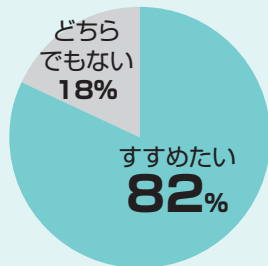
児童の感想

すすめたい
子どもが多数!

「いすがフカフカだった」
という感想が多数!

- とても楽しかった
- 市議会についてよくわかった
- 自由研究の役に立った
- 今後は広報とかを読んで「今こうしているんだ」等を知って、家の人に知らせてみたい
- 質問するだけなのに、きれいなじゅうたんやフカフカのいす、きれいな照明があるのか意味がわからない

同級生に議会見学ツアーを
すすめたいですか?



すすめたくない
0%

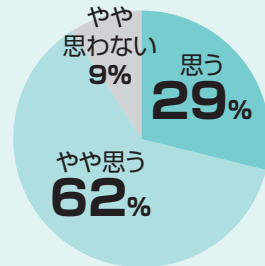
保護者の感想

行きたいと思った
保護者が多数!



- はじめて議場や議長室に入ることができた
- 大人も勉強になった
- 写真も撮れ、子どもたちも楽しそうだった
- 議長席に座るなど、自分も議員になった気分が味わえてよかった
- 開かれた議会にしよう!!という議員の思いはすごく伝わった!
- 市役所が暗いので勝手に議会も暗いイメージがあったけど、議員の皆さんが明るく元気でパワーを感じた
- 議員の活動がやりたくなった

議会の傍聴に
行きたいと思いますか?



思わない
0%

楽しかった部屋 ランキング!



- | | | |
|----|------|----|
| 1位 | 議長室 | 8票 |
| 2位 | 談話室 | 4票 |
| 3位 | 協議会室 | 2票 |

番外編
議長のいす!



今回初めての開催であったため不手際もあったと思いますが、皆さんに楽しんでいただきながら、市議会について知っていただくことができ本当に良かったです。ツアー中は子ども達だけでなく、保護者の方々からも質問が飛び交い、議会だけでなく議員についても知る機会になったのではないかと思います。アンケートでは多くの感想やご意見をいただき、今後の改善点を見出すことができました。今後も市民の皆さんとの直接的な関わりが増えるような機会づくりに取り組んでいきたいと思ひます。ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。<特集担当:島田、谷口>



主催した議会改革特別委員会 広聴・広報部会で、アンケート結果をもとに話し合いました。今後も、「市民によく見え、魅力ある議会」のために取り組みを進めていきます。



もっと詳しく
知りたい方はこちら。

